



▶▶ ビットキー行動指針

Contents

はじめに p.3

行動規範 p.4

行動基準

第1章 ビットキーで働く仲間とのつながり p.6

第2章 社会とのつながり p.9

第3章 品質とのつながり p.12

第4章 情報とのつながり p.15

第5章 取引先とのつながり p.17



はじめに

「ビットキー行動指針」は、ビットキーが事業活動を適正に行うために求められる行動の基本的な考え方である行動規範と、具体的な行動基準を示すものです。

幅広い状況に役立つ行動指針であることを目指していますが、すべての状況が網羅できるわけではありません。

何が正しい判断か迷った場合は、次の質問をあなた自身に問いかけてみてください。

- ① 「その行動は、法令やビットキー行動指針及び社内規程などの社内ルールを守っていますか？」
- ② 「その行動は、家族や友人や同僚などのあなたの大切な人に誇れるもので、うしろめたさを感じることはありませんか？」
- ③ 「その行動は、例えばマスコミなどのメディアで報道されても堂々と説明できるもので、ビットキーで働く仲間、お客様、株主、取引先、世界中の人々からの信頼を傷つけませんか？」

もし、一つでも「はい。」と答えられない質問がある場合は、一人で判断せず、行動する前に上長または適切な部署に相談してください。

行動規範

ビットキーが事業活動を適正に行うための会社としての考え方を示すものです。

ビットキーで働く仲間とのつながり

1. ビットキーは、差別やハラスメントのない職場づくりに努めます。
2. ビットキーは、労働災害の防止と健康保持のため安全・衛生等の確保に取り組み、理想的なワークスペースの実現を追求し続けます。
3. ビットキーは、会社の資産を効率的に使用し、適切に取り扱います。
4. ビットキーは、利益相反行為を禁止します。
5. ビットキーは、社内規程やマニュアルなどの社内ルールを守ります。

社会とのつながり

1. ビットキーは、社会からの期待や要請を認識し、その合理的な期待や要請に応えるよう弛まぬ努力を続けます。
2. ビットキーは、経営の透明性を高めるとともに、株主をはじめとするステークホルダーに対する適正な情報開示を通じて説明責任を果たします。
3. ビットキーは、自らの事業活動が環境に負荷をかけていることを認識し、環境に配慮した事業活動に取り組みます。
4. ビットキーは、未公表の重要事実に基づく有価証券の取引を行いません。
5. ビットキーは、反社会勢力との関係を持ちません。

品質とのつながり

1. ビットキーは、自社製品・サービスの品質に対して、最優先事項の一つとして取り組みます。
2. ビットキーは、社会インフラにふさわしい製品・サービスとしての安全性を追求します。
3. ビットキーは、社会課題の解決に資する製品・サービスを提供し続けるため研究開発を推進します。
4. ビットキーは、お客様に自社製品・サービスに関する適切な情報を提供します。
5. ビットキーは、事故や苦情に真摯に適切に対応します。

情報とのつながり

1. ビットキーは、個人情報や機密情報などを適切に保護します。
2. ビットキーは、個人情報や機密情報を外部の攻撃やリスクから守る体制とセキュリティの確保に取り組み続けます。
3. ビットキーは、第三者の知的財産や機密情報の不正使用を行いません。

取引先とのつながり

1. ビットキーは、合理的に適正な基準に基づいて購買先を選定します。
2. ビットキーは、海外との取引においては、輸出入等の法令を遵守します。
3. ビットキーは、取引先との公正な関係を築きます。

行動基準

ビットキーで働く私たちがどのように行動すべきかを示すものです。

第 1 章 ビットキーで働く仲間とのつながり

1. 差別やハラスメントのない職場づくり

- (1) 私たちは、性別、年齢、障害の有無、人種、民族、国籍、宗教、信条、社会的身分などによる差別の禁止に取り組みます。
- (2) 私たちは、業務の適正な範囲を超える言動や、性的言動、不利益な取扱いの示唆・強要・嫌がらせなどにより相手に精神的・身体的な苦痛を与えたり就業環境を害するような一切のハラスメント行為を行いません。また、他人が行うことも許しません。
- (3) 私たちは、毎年実施される社内の教育機会を通じて、自らの理解と行動を見直し、ハラスメントのない職場づくりに主体的に取り組めます。

2. 理想的なワークスペースの実現

- (1) 私たちは、労働災害の防止と健康保持のための安全・衛生等の確保に取り組み、人の生命や身体に対する安全や心身の健康を最優先に対処します。
- (2) 私たちは、常に健康に就業できるよう「衛生管理マニュアル」に則り、必要な衛生についての措置を講じます。
- (3) 私たちは、「Bitkey Attendance Rules」にある働き方と勤怠のルール及び勤怠システムの操作方法を守り、適切で正確な勤怠管理を行うとともに、社員と勤怠管理者がそれぞれの責任を果たし、全員で健全な働き方を維持できるよう協力し合います。
- (4) 私たちは、健全で信頼ある組織運営を維持・発展できるよう、社内での研修や教育の機会を継続的に提供します。
- (5) 私たちは、社内での研修や教育に積極的に参加し、健全な組織運営や業務の適法性確保を実現するうえでの理解や実行力を高めるとともに、学びを自らの成長と実践につなげます。
- (6) 私たちは、理想的なワークスペースの実現を提案する会社として、自社でもより良い職場環境を追求しリードします。

3. 会社資産の適切な取り扱い

- (1) 私たちは、会社の設備や備品、情報などの資産を無駄なく効率的に活用し、私的利用を一切行わず業務に必要な範囲でのみ使用します。
- (2) 私たちは、会社の資産の紛失や破損を防ぐため、整理整頓を心がけ十分に注意を払い取り扱います。
- (3) 私たちは、会社の資産に紛失や破損が生じた場合は、上長や適切な部署に速やかに報告します。

4. 利益相反行為の禁止

- (1) 私たちは、業務上の判断や行動において、会社全体の利益のために最善を尽くし、個人の利益と会社の利益が相反（対立）する状況では、常に公正かつ透明性の高い意思決定を行います。
- (2) 私たちは、公私のけじめをもち、会社の利益と私的な利益が不当に交わることのないよう、次の点に十分留意します。
 - ① 会社と競合するビジネスや取引先に不正に関与しません。
 - ② 家族や親しい友人、恋人に不当な優遇を与えることはありません。
 - ③ 取引先に対して私的な贈答・接待を要求せず、社会通念を超えるものは受け取りません。
 - ④ 会社の財産、情報または立場を利用して私的な利益を得ようとしません。
 - ⑤ 会社の取引先に多額の投資を行いません。
- (3) 私たちは、利益相反が生じる場合、または会社の利益を損なう、あるいは損なうように見える場合には、上長や適切な部署に速やかに報告し、状況に応じて適切に対処します。

5. 社内規則の遵守

- (1) 私たちは、社内規程やマニュアルなどの社内規則を正しく理解し、日常の業務において常にそれに則って行動します。
- (2) 私たちは、規則を形式的に守るだけでなく、その背景にある目的や趣旨を理解し、より良い運用に貢献します。
- (3) 私たちは、規則に疑問がある場合や状況に合わないと感じた場合でも、自己判断で逸脱せず、上司や適切な部署に相談します。

行動基準

ビットキーで働く私たちがどのように行動すべきかを示すものです。

第 2 章 社会とのつながり

1. 社会からの期待や要請に応える弛まぬ努力

- (1) 私たちは、社会の一員としての責任を自覚し、良識、公正、透明性を保持し、社会からの合理的な期待や要請に応えられるよう弛まぬ努力を続け、誠実に行動します。
- (2) 私たちは、国内外の法令、社内規程・マニュアル、社会規範を守り、これらに反することは会社の利益になるように見えても行いません。
- (3) 私たちは、常に社会課題に敏感であり、起業家精神をもって課題解決に積極的に挑戦します。
- (4) 私たちは、持続可能な社会の発展に貢献する強い意思を持って、革新的な製品・サービスを産み出し提供することで、社会を前進させることに貢献します。
- (5) 私たちは、公正な競争を通じて健全な市場と社会の発展に貢献します。

2. 適正な情報開示を通じた説明責任の遂行

- (1) 私たちは、経営の透明性を高めるとともに、株主をはじめとするステークホルダーに対して、定期的かつ適切なタイミングで、経営に関わる情報を開示し、会社の運営状況や戦略について説明できるよう努めます。
- (2) 私たちは、定量的・定性的な情報に関して正確な情報を提供し、社内外の利害関係者に対して説明責任を果たします。
- (3) 私たちは、法令に則った正確な申告と納税を行い、適正な納税義務を果たすとともに、納税に関する業務を適切に管理し、税務調査等に対しても誠実かつ迅速に対応します。

3. 環境に配慮した事業活動

- (1) 私たちは、会社の事業活動が環境に与える影響を認識し、環境に配慮した行動に努めます。
- (2) 私たちは、資源の効率的な使用と廃棄物の削減を推進するとともに、廃棄物は適切に処理し、環境への負荷を最小限に抑えるよう徹底します。
- (3) 私たちは、自社製品・サービスの提供を通じて環境負荷低減と持続可能な社会の実現に寄与することを目指します。

4. 未公表の重要事実に基づく有価証券取引の禁止

- (1) 私たちは、自社や取引先に関する未公表の重要情報を知った場合、それを有価証券の取引に利用せず、適切に取り扱うことを徹底します。
- (2) 私たちは、インサイダー取引を防止するため、未公表の重要情報を第三者に漏らさず、情報の取り扱いに慎重を期します。

5. 反社会勢力との関係遮断

- (1) 私たちは、事業上の関係において、社内で定められた手続きに則り、反社会勢力と関わりがないことを必ず確認し取引を行います。
- (2) 私たちは、反社会勢力との一切の関係を避け、どのような状況でもそのような勢力と関与しないことを徹底します。
- (3) 私たちは、反社会的勢力からの不当な要求や圧力に対して断固として拒否します。

行動基準

ビットキーで働く私たちがどのように行動すべきかを示すものです。

第 3 章 品質とのつながり

1. 品質を最優先事項の一つとする姿勢

- (1) 私たちは、私たちの製品・サービスの品質を常に最優先に考え、お客様の期待に応える品質の提供に努めます。
- (2) 私たちは、品質管理の基準を設け、定期的に評価・改善を行うことで、私たちの製品・サービスの品質向上に取り組めます。

2. 社会インフラにふさわしい安全性の追求

- (1) 私たちは、私たちの製品・サービスが社会インフラである責任を自覚し、全員が安全に対する高い意識を持ち、常に安全性の維持・向上に真剣に取り組めます。
- (2) 私たちは、私たちの製品・サービスによる事故や危険を未然に防ぐため、安全性に関する基準を設け、定期的な検査や評価を通じて、リスクの早期発見と改善を行います。

3. 研究開発の推進

- (1) 私たちは、私たちの製品・サービスやその品質が社会課題の解決に資するものであり続けられるように、研究開発への適切な投資を怠りません。
- (2) 私たちは、研究開発に注力することで、イノベーションによって社会に貢献する新たな価値を提供し続けます。

4. 適切な情報提供

- (1) 私たちは、私たちの製品・サービスに関する正確で分かりやすい情報を提供し、お客様が適切な判断をできるようにサポートします。
- (2) 私たちは、お客様のニーズや期待に応えるため、私たちの製品・サービスの内容や使用方法について、透明性のある情報をタイムリーに提供します。
- (3) 私たちは、私たちの製品・サービスに関連するリスクや制限事項についても、十分に説明し、お客様に安全かつ満足してご利用いただけるよう努めます。

5. 事故や苦情への適切な対応

- (1) 私たちは、事故や苦情が発生した場合、迅速かつ誠実に対応し、事実関係を正確に把握した上で適切な情報開示と対応措置を講じます。
- (2) 私たちは、お客様からの苦情やフィードバックを真摯に受け止め、改善対策の検討・実施につなげます。
- (3) 私たちは、事故や苦情が発生した場合、原因分析を行い、必要な措置を講じて再発防止に努めます。

行動基準

ビットキーで働く私たちがどのように行動すべきかを示すものです。

第 4 章 情報とのつながり

1. 個人情報や機密情報などの適切な保護

- (1) 私たちは、個人のプライバシーを尊重し、個人情報を取り扱う際は法令を遵守し、適切な管理と保護に努めます。
- (2) 私たちは、個人情報の収集・利用・保管に関して、必要な範囲でのみ行い、その目的に従い厳格に取り扱います。
- (3) 私たちは、機密情報を扱うすべての役職員に対して、適切な教育を実施し、情報の取り扱いに関する意識の向上を図るとともに、機密情報が外部に漏洩しないよう、取引先や第三者との情報共有については契約や取り決めを明確にし、適切な管理を行います。

2. 外部の攻撃やリスクから守る体制とセキュリティの確保

- (1) 私たちは、個人情報や機密情報が不正にアクセスされたり漏洩したりしないよう、必要なアクセス制限や管理体制を徹底するとともに、定期的なセキュリティチェックや教育を実施し、継続的にセキュリティの安全性を維持・向上させます。
- (2) 私たちは、情報セキュリティに関するリスクを常に把握し、必要に応じて体制の見直しや改善を行い、防御体制の確保に取り組めます。
- (3) 私たちは、役職員に対して定期的なセキュリティ教育を実施し、情報の取り扱いやリスク管理に関する意識の向上を図ります。

3. 第三者の知的財産や機密情報の不正使用の禁止

- (1) 私たちは、第三者の知的財産や機密情報を適切に取り扱い、その権利を尊重し、不正使用を一切行いません。
- (2) 私たちは、第三者の知的財産や機密情報を使用する際には、契約や法的義務を遵守します。

行動基準

ビットキーで働く私たちがどのように行動すべきかを示すものです。

第 5 章 取引先とのつながり

1. 合理的に適正な基準に基づく購買先の選定

- (1) 私たちは、公正かつ透明性のある社内プロセスを踏んで、品質、価格、納期など複数の評価基準を総合的に考慮し、合理的な判断に基づいて購買先の選定を行います。
- (2) 私たちは、人権を尊重し責任ある調達慣行に取り組んでいる購買先を選定します。

2. 海外との取引における法令等の遵守

- (1) 私たちは、海外との取引において、関係する輸出入法令を遵守し、適切な手続きを踏んで行動します。
- (2) 私たちは、貿易に関する規制や制裁措置を確実に確認し、それに基づいて取引を適法に行います。
- (3) 私たちは、海外取引先との契約や取引が法令に従い、適正かつ透明性のある取引となるように努めます。

3. 取引先との公正な関係構築

- (1) 私たちは、法令や公正な取引慣行に則り、取引先との対等で誠実な関係を築きます。
- (2) 私たちは、取引条件や契約内容を明確かつ透明に提示し、双方が納得したうえで適正に取引を行います。
- (3) 私たちは、節度ある接待・贈答を心がけ、取引先との健全な信頼関係を維持します。
- (4) 私たちは、取引先との関係において、私的な便宜のやり取りは行いません。
- (5) 私たちは、金銭・贈答・接待などの提供や受領が取引に不当な影響を与えることのないよう、適正な判断と節度を持って行動します。